



全国天満宮総本社
北野天満宮
曲水の宴



日時 令和5年3月11日(土) ※雨天決行
午後1時～午後2時(開場:午後0時45分)

会場 北野天満宮 紅梅殿前 船出の庭

観覧料 1,000円 ◎前売り券は北野天満宮文道会館受付にて2月11日(土)より頒布いたします。

〈主催〉曲水の宴実行委員会

〈後援〉京都府、京都市、(公社)京都市観光協会、古典の日推進委員会

※お問い合わせ:北野天満宮社務所 075-461-0005

※状況により、日程変更・中止の場合がございます。

※その他開催についての詳細は、当宮ホームページをご覧ください。

菅公顕彰
和漢朗詠



第十三回 北野天満宮

曲水の宴

菅公顕彰
和漢朗詠

全国天満宮の総本社
北野天満宮の御祭
神菅原道真公（菅公）
は、学問・芸能の神
として知られていま
す。往時も高い文才を評価され、幾度も宇
多天皇主催の曲水の宴に文人として招かれ
ました。

北野天満宮曲水の宴は、史実に鑑み菅公
の御事績を顕彰するとともに、「和魂漢才」
の精神を旨とした菅公の御心になかうよう、
特別に和漢朗詠形式でおこなっております。
現代に蘇る雅な平安絵巻の世界をどうぞ
お楽しみください。

【曲水の宴とは】

庭を流れる小川に酒を入れた杯を流して
飲み、題に即した詩を賦するという雅な宴。
もともとは、古代中国で行われていた上
巳の祓（毎年三月最初の巳の日に水辺で体
を清める行事）に由来し、宴の形式に整え
られ日本にも伝えられました。日本におい
ては、桓武天皇ならびに宇多天皇の御代に
て最も盛んに開催され、詩歌の他に、諸芸
能の披露も行われたといわれています。

朗詠「花時天似酔」
はなのときはてんもよへるがごとし

我君一日之沢。万機之余。

曲水雖遙。遺塵雖絶。

書巴字而知地勢。思魏文以翫風流。

（菅原道真公『菅家文章』『和漢朗詠集』）

【詩の意味】

「曲水の宴は遙か遠くになり、その名残も絶えてしまっている。巴という字のように曲がりくねった川で、風流韻事を好んだ魏の文帝を思っ雅な遊びを楽しむ」と、曲水の宴を再興した宇多天皇をたたえる漢詩の序にあたる一節。菅公の高い教養がうかがえます。平安の宴でも尊ばれた朗詠の節にのせてお聞きいただきます。

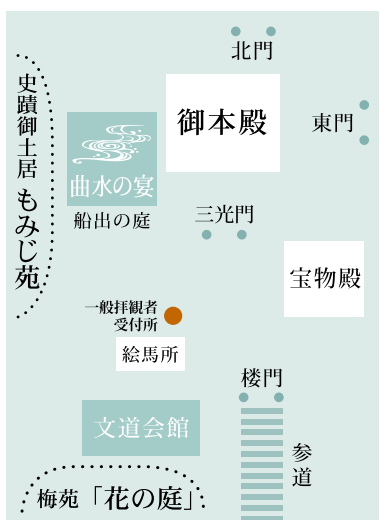
和歌・白拍子舞

東風吹かば匂ひおこせよ梅の花
主なしとて春を忘るな

（菅原道真公『拾遺和歌集』）



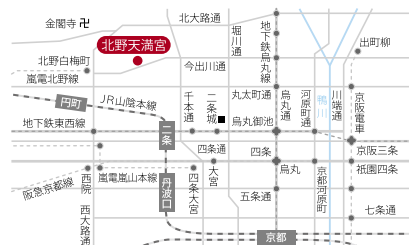
菅公が大宰府に左遷され、京都の自邸を離れる際に、ご自身の愛した庭の紅梅に向けて詠んだ和歌です。かつて北野天満宮でも行われていた幻の芸能、白拍子の舞とともにご覧いただけます。



全国天満宮総本社
北野天満宮

お問い合わせ TEL 075-461-0005

右記QRコードを携帯電話やスマートフォンで読み込むと北野天満宮の最新情報にアクセスできます。
Twitterでもご案内しております。



アクセス

嵐電 北野白梅町駅より徒歩5分
JR 京都駅より市バス50系統
JR・地下鉄二条駅より市バス55系統
JR 円町駅より203系統
地下鉄今出川駅より市バス51・203系統
京阪三条駅より市バス10・51系統
京阪出町柳駅より市バス203系統
阪急大宮駅より市バス52・55系統
阪急西院駅より市バス203系統
※いずれも北野天満宮前下車すぐ